

年頭のごあいさつ

越生町長

新井康之



未来創造

新 年おめでとうござ
います。皆さまに
は輝かしい新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。
町政に対し温かいご理
解ご協力いただき厚くお礼
申し上げます。

昨年は越生町が明治22年
に誕生してから135周年、
また越生町と梅園村が
合併してから70周年の記念
すべき年でした。これを記
念して11月2日「町制施行
135周年並びに合併70周
年記念式典」を挙行しま
した。今年は新しい次の
135年のスタートの年で
す。これからの未来を創造
するため、私は今年の書初
めを「未来創造」と書きま
した。

昨年は従来から先送りさ
れてきた懸案の課題に果敢
に取り組み、良い方向へ進
んでいます。

橋戸川不法占有
訴訟の判決
町が全面勝訴

町が所有する橋戸川の一
部を、相手方が町長の許可
を得ることなく占有してい
ました。この問題は過去40
年以上も解決を先送りされ
てきました。

私はこの問題を先送りす
べきでないと決断して、令
和5年7月さいたま地方裁
判所川越支部に裁判を提起
しました。その結果、昨年
11月6日、判決が言い渡さ
れました。その内容は、裁
判所は、越生町の主張を全
面的に認めるもので、町の
全面的な勝訴でした。
相手方は、高等裁判所に
控訴しなかったため、この
判決は確定しました。



▶さいたま地方裁判所川越支部

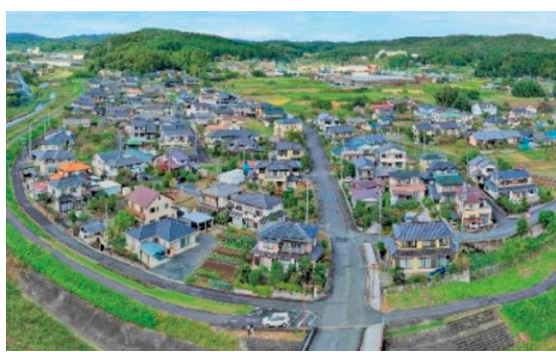
新地名「春日」誕生
29年間の仮換地
状態を解消

大字西和田の河原山地区
の土地区画整理事業は、平
成7年に仮換地指定され、
以前の不整形な土地の形か
ら、現在の碁盤の目のよう
な形の土地になり、その上
に建物も建ちました。その
ため、区画整理は既に完了
しているとの印象をお持ち
の方も多かったのではない
かと思っています。

しかし、土地区画整理事
業は完了していませんでした。
所有者にとつて重要な
現状を表す不動産（特に土
地）の登記簿も図面もでき
ていませんでした。

私は就任して間もなく、
この仮換地状態を解消させ
ないと、今後複雑な問題が
発生すると思い、換地を完
成させるための事業に着手
し、昨年2月に換地処分を
完了させました。そしてこ
の区域の皆さまの住所や不
動産の所在も「春日〇丁目」

に変更されました。仮換地
指定されてから実に29年
になります。



▶春日地区のパノラマ写真

旧ゆうパークを
民間に譲渡
町の財政負担が軽減

来館者の減少と施設の老
朽化が進み、平成30年度か
ら賃貸している施設を更に
民間へと譲渡しました。こ
れにより将来にわたる町の
財政負担を軽減することが
できます。

譲渡と同時に結んだ包括
連携協定により町の賑わい

創出や災害時の避難所など
今後連携を続けていきま
す。

㈱特産物加工研究所
の黒字化

私が町長就任時には、実
質的には赤字でした。経営
改善に取り組み黒字化を達
成しました。

今後特産品のPRと新
商品の開発に努めます。

子育て支援の充実
給食費無償化

昨年4月から、小学校や
中学校に通う児童・生徒の
給食費を完全に無償化いた
しました。また保育園等に
通う園児の給食費も無償化
しました。次世代を担うこ
ども一人ひとりを町の宝と
捉え、子育てをされる皆さ
まの経済的負担を軽減し、
安心して子育てしていただ
くためです。

今後も子ども施策を町の
重要施策に置き、子育て支
援や教育環境の整備を図っ
ていきます。

買い物弱者対策
ウエルシア移動
販売車スタート

移動が困難な高齢者等の
買い物に行くことが難しい
方々のため、昨年10月移動
販売車を定期的に町内で巡
回販売する事業を開始しま
した。

この移動販売車は、越生
町とウエルシアが共同で運
営します。皆さまの日常生
活をサポートすることを目
的としています。

この移動販売事業が、地
域の皆さまにとり便利で楽

動画

「越生七福神めぐり」
ふるさと動画大賞
受賞

町職員が一丸となって制
作した動画「越生七福神め
ぐり」が、地域プロモーショ
ンアワード2024ふるさと
と動画大賞で審査委員長賞
を受賞しました。

これは役場の職員が、町

しい場となることを願って
います。



外から人を呼び込もうとシ
ティプロモーションプロ
ジェクトチームを立ち上
げ、15分間の短編映画のよ
うに町のPR動画の制作を
行なったものです。
今年もぜひ動画をご覧い
ただき、武蔵越生七福神め
ぐりに出かけてみてはいか
がでしょうか。

昨年は、このように従来
の未解決の課題の多くを解
決し、新たな事業も開始し
ました。

本年はさらに「越生の未
来を創造」するために現場
主義を貫き職員の先頭に
立つて全力を尽くしていま
います。

結びに、全ての町民の皆
さまのご健康ご多幸を心よ
り祈念申し上げ、年頭の挨拶
といたします。